



野田生小だより

令和3年11月30日 発行468号

二海郡八雲町野田生 457 番地 2 ☎0137-66-2014 Fax0137-66-2953

学校の教育目標

- 考える子
- 強い子
- 正しい子
- 仲良い子

「修学旅行 今、むかし」

八雲町立野田生小学校長 高 ○ ○ ○

初雪が舞い降り、ここ野田生もいよいよ冬に入りました。まだ慣れていないせいか、私は、道を歩くのも車の運転をするのも恐る恐るという数日が続いています。学校では、これまでと変わらない毎日を送っていますが、廊下の寒さに冬の到来を実感しています。

11月7日(日)、本校では学芸会が行われました。子どもたちは、「輝け！～仲間とともに～」というスローガンの下、協力の大切さや息を合わせる難しさを感じながらも、一人ひとりが自分の個性をどう生かせるかを考え工夫した成果を存分に発揮しました。保護者の皆様をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策にご協力くださいました関係各位に改めて感謝申し上げます。

また、18日から19日の1泊2日で、6年生が修学旅行に行ってきました。当初予定では、6月の実施でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い9月末に延期し、さらに今回の時期にずれ込むこととなった修学旅行でした。そのために、日程が少し変更になり、宿泊が登別温泉になりました。この登別温泉は、かつて修学旅行のメッカだったところ。祖父母に、「昔は、米をもって修学旅行に行ったものだ。」と聞かされたことがあります。たしかに、学校の記録写真には、登別温泉で撮られたモノクロの写真をよく見ます。

さて、私自身の修学旅行を思い返すと、バスによる1泊2日の札幌であったと記憶しています。初めて行く水族館が楽しみでした。卒業アルバムを開いても、今のように、画像や動画がふんだんに使われる時代ではなかったので、文章でしかそのときの様子をたどることができないのが残念です。

教員になったころ、赴任先の学校では、3時間50分をかけたの連絡船から始まる旅でした。早朝、函館駅からの長い通路を通して、栈橋に見送りに行ったものです。しかし、担任としての最初の修学旅行は青函トンネルでした。開通して間もなくのことです。JRの車内では、座席を対面にしてトランプやゲームが始まるわけですが、当時はトンネル内の防音性が低かったこともあり、車内では、大声で話をしなければなりません。また、そのころは、十和田湖まで足をのばすのが定番だったので、担任として最も気を遣うのが乗り物酔いで、バスの中をいかに楽しく過ごすかに知恵を絞ったのも今では思い出の一つです。

今も昔も修学旅行は子どもたちにとって小学校生活最大のイベントであり、思い出です。保護者の皆様も小学校、中学校、高校の修学旅行で、たくさんの思い出をお持ちのことと思います。ぜひ、それぞれの思い出を交流されてみてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少してきましたが、これまでの傾向を見ると、これに伴って人が動くともた増加するようです。もうしばらくの我慢が必要です。さらに、昨年冬にインフルエンザが少なかったために、今年は要注意なのだそうです。お互いに気を付けて、冬を乗り切りましょう。

野田生小ホームページ
学校情報更新中！

野田生小 検索



仲間とともに輝いた 学芸会

11月7日(日)に行いました「野田生小学校 学芸会」には、保護者、ご家族の方に足をお運びいただきありがとうございました。子供たちの発表はいかがでしたでしょうか。野田生小学校ではこの学芸会で、子供たちが互いの努力を認め合い、協力して目標に向かう力を育むことを大切にして取り組んできました。そして子供たちは「輝け！仲間とともに」を合言葉に、意欲的に練習に励んできました。その演目を振り返ります。

★1・2年生「くさはらの なかまたち」



動物役の子供たちが“めんこかった”ですね。1年生は大きな声ではっきりと、2年生は昨年

増して堂々と演じていました。

★3・4年生「本当の宝ものは？」



一人が何役もこなし、舞台裏では着替えラッシュ。それでも笑顔いっぱい

に演じ、その楽しさが伝わってきました。

★5・6年生「シンデレラ」



恥ずかしい気持ちを乗り越え演じました。王子様とシンデレラの舞踏会シーンは華やかでした。

今年の5・6年生も悪役の演技が光りました。意地悪なお母さんとお姉さんの演技はなかなかでしたね。

★全校器楽「虹」



休み時間も惜しまず、“息を合わせて”練習してきました。そのがんばりに拍手です！

「輝け！仲間とともに」のテーマを目指して、練習に励んできた子供たち。仲間とともにやり抜き、輝いた姿を発揮できた学芸会となりました。

観覧いただいた保護者、ご家族の方々、感染対策へのご協力、ならびにたくさんの拍手をありがとうございました。

見て、感じて、友と語らい、心を動かした 八雲町合同修学旅行



マリナーパークニクス



ウポポイ



ホテルで友達トーク



伊達時代村

11月18日(木)～19日(金)に6年生が八雲町合同修学旅行に参加し、充実した2日間を過ごしてきました。新型コロナウイルス感染症の影響で2度の延期や行程の変更となりましたが、無事に行くことができました。また、通常であればもう少し暖かい時期での実施となっているところですが、ジャンパーや手袋など冬の服装での活動となったものの、町内複式小学校の友達と触れ合いながら、実体験を通し見分を広げることができました。見学先であるウポポイでは、神秘的なアイヌの舞踊や歌、そして美しい造形の展示物などとても心を打たれたようです。また、伊達時代村ではアトラクションや演劇を楽しみました。参加校4校のうち野中校区の3校は約4か月後には同じ教

室で学ぶ仲間となります。この修学旅行の経験が中学校生活のよりよいスタートに繋がります。

12月の予定

1	水	租税教室(5・6年) クラブ活動
2	木	一輪車発表会 授業参観, 学級懇談
3	金	つどい八雲(3・4年生)
6	月	児童朝会
7	火	移動図書
9	木	ブ〇〇〇先生との外国語 PTA 役員会
12	日	子供会クリスマス会 9:00~
16	木	ブ〇〇〇先生との外国語
22	水	児童委員会
23	木	ブ〇〇〇先生との外国語
24	金	冬休み前集会 3時間授業 大掃除 12/25~ 冬休み



11月の様子



「輝け！仲間とともに」学芸会



全校児童で、
息を合わせて、
力を合わせて



八雲町合同修学旅行～貴重な学びができました～

